

## 1 中長期病院施設改修計画策定業務に係る業務委託経費

## (1) 中長期病院施設改修計画策定業務に係る業務委託経費（H30～33年度）

提案見積額（消費税等抜き）

(2)ア+(3)ア	千円
-----------	----

## (2) 中長期病院施設改修計画策定業務に係る業務委託経費（H30年度）

ア 提案見積額（消費税等抜き）

千円
----

イ 提案見積額の裏付け

## 【記入方法】

- ・当該業務に必要な経費を計上すること。各年度の支払については別途協議する。
- ・上記アに記入する金額は、下の③の消費税等抜きの金額を千円未満で切り捨て、千円単位で記入すること。
- ・業務内訳、経費内訳は、応募者が適宜必要とする事項を記述する。

## ① 業務における直接人件費

(単位：円)

業務内訳	人・日	単価	直接人件費
計			

## ② その他業務経費

(単位：円)

経費内訳	算出方法	経費
計		

## ③ 合計（①計+②計）

(消費税等抜き)

--

(消費税等込み)

--

※指定様式(A4 縦長横書き)に記載し、不足の場合は、頁を増やし追加すること。(全部で2枚以内)

(3) 中長期病院施設改修計画策定業務に係る業務委託経費（H31～H33年度）

ア 提案見積額（消費税等抜き）

	千円
--	----

イ 提案見積額の裏付け

【記入方法】

- ・当該業務に必要な経費を計上すること。各年度の支払については別途協議する。
- ・上記アに記入する金額は、下の③の消費税等抜きの金額を千円未満で切り捨て、千円単位で記入すること。
- ・業務内訳、経費内訳は、応募者が適宜必要とする事項を記述する。

① 業務における直接人件費

(単位：円)

業務内訳		人・日	単価	直接人件費
計				

② その他業務経費

(単位：円)

経費内訳		算出方法	経費
計			

③ 合計（①計+②計）

(消費税等抜き)

--

(消費税等込み)

--

## 2 翌年度の病院施設改修工事等に係る工事費等概算額算出業務の委託経費

## (1) 提案見積額（消費税等抜き）

(2)×4	千円
-------	----

## (2) 1年分の提案見積額（消費税等抜き）

単年度額	千円
------	----

## (3) 提案見積額の裏付け

## 【記入方法】

- ・単年度に必要な経費を計上すること。
- ・上記アに記入する金額は、下の③の消費税等抜きの金額を千円未満で切り捨て、千円単位で記入すること。
- ・業務内訳、経費内訳は、応募者が適宜必要とする事項を記述する。

## ① 業務における直接人件費

(単位：円)

業務内訳		人・日	単価	直接人件費
計				

## ② その他業務経費

(単位：円)

経費内訳		算出方法	経費
計			

## ③ 合計（①計+②計）

(消費税等抜き)

(消費税等込み)

※指定様式(A4 縦長横書き)に記載し、不足の場合は、頁を増やし追加すること。(全部で2枚以内)

### 3 毎年度、当初に指定する病院施設改修工事等及び予算の変更等で臨時に指定する病院施設改修工事等に係る業務の業務委託経費

#### (1) 4年分の見積提案額

(2)の表E欄で算出した各設計金額範囲の定率により表1で計算した合計額の千円未満を切り捨てた額とする。

表 1

設計金額範囲 (千円) (消費税等抜き)	定率 (%) A	平成26～29年度 設計金額実績 (千円) (消費税等抜き) B	提案見積額 (円) A × B × 1,000
～4,999		2,099	
5,000～9,999		29,083	
10,000～29,999		302,656	
30,000～49,999		477,223	
50,000～99,999		681,113	
100,000～299,999		363,972	
300,000～499,999		815,357	
500,000～699,999		0	
700,000～999,999		862,287	
合 計		3,533,790	
見積提案額 (千円未満切り捨て)			

#### (2) 病院施設改修工事等の計画から工事竣工引渡業務完了までの全工程の業務を実施する場合の工事1件当たりの業務委託経費の算出根拠となる定率(※)の提案

※ 定率は、設計金額範囲(表2のA欄)の中間値に対する業務委託経費(表2のD欄)の割合

##### 【表1の記入方法】

- ・金額は消費税等抜きで記入すること。
- ・設計金額範囲の区分毎のB、C、D、E欄に提案する金額及び定率を記入すること。
- ・B、C、D欄の金額は千円未満を切り捨て、千円単位で記入すること。
- ・D欄は、B、C欄の合計を記入すること。
- ・E欄は、A欄の中間値(※注1)に対するD欄の割合を定率とし、パーセント(%)で記入すること。
- ・E欄の定率(%)は、小数点第2位(小数点第3位を四捨五入)まで記入すること。

表 2

(単位：千円)

設計金額範囲 (消費税等抜き)	業務における 直接人件費	その他 業務経費	業務委託経費 (B+C)	A欄の中間値(※注1) に対するD欄の割合を 定率(%)とする。
A	B	C	D	E
～4,999				(2,500)
5,000～9,999				(7,500)
10,000～29,999				(20,000)
30,000～49,999				(40,000)
50,000～99,999				(75,000)
100,000～299,999				(200,000)
300,000～499,999				(400,000)
500,000～699,999				(600,000)
700,000～999,999				(850,000)

注1： E欄( )の数字は、中間値とする。

(3) 業務の一部を実施する場合の定率の提案

【記入方法】

- ・表 2 D 欄の業務委託経費について、次のア・イに区分し定率 (%) 記入すること。  
定率 (%) は、業務委託経費に対する割合 (※注 2) とし、小数点第 2 位 (小数点第 3 位を四捨五入) まで記入すること。

ア 計画から設計業務完了まで

%
---

イ 施工者選定から工事竣工引渡業務完了まで

%
---

注 2: ア・イの業務の割合は、工事の設計金額の規模に関係なく、一律とする。  
ア・イの合計は、100%とする。

(4) 提案内容の裏付け (代表例として 2 例を作成してください。)

ア 設計金額が 10,000~29,999 千円の場合の業務内訳の見積りを記載してください。

① 業務における直接人件費

(単位: 円)

業務内訳 A	人・日 B	単価 C	直接人件費 (表 2 B 欄の額) D
合 計			

注: 業務内訳は、応募者が適宜必要とする事項を記述する。

② その他業務経費

(単位: 円)

経費内訳 A	算出方法 B	経費 (表 2 C 欄の額) C
合 計		

注: 経費内訳は、応募者が適宜必要とする事項を記述する。

③ 合計 (①計+②計)

(消費税等抜き)

--

(消費税等込み)

--

※指定様式(A4 縦長横書き)に記載し、不足の場合は、頁を増やし追加すること。(全部で 2 枚以内)

イ 設計金額が 100,000～199,999 千円の場合の業務内訳の見積りを記載してください。

① 業務における直接人件費 (単位：円)

業務内訳 A	人・日 B	単価 C	直接人件費 (表 2 B 欄の額) D
合 計			

注：業務内訳は、応募者が適宜必要とする事項を記述する。

② その他業務経費 (単位：円)

経費内訳 A	算出方法 B	経費 (表 2 C 欄の額) C
合 計		

注：経費内訳は、応募者が適宜必要とする事項を記述する。

③ 合計 (①計+②計)

(消費税等抜き)

(消費税等込み)

※指定様式(A4 縦長横書き)に記載し、不足の場合は、頁を増やし追加すること。(全部で2枚以内)

その他提案による支援業務

1 業務の概要
2 業務の具体的内容

注：A4 縦長横書き 1 枚に記載すること。(罫線については省略可)